

新 栄 だ よ り vol.22

富山産業展示館(テクノホール様)新展示場 オープン



▲ テクノホール外観 現展示場(左)と新展示場(右)



▲ ホワイエ 2つの展示場をつなぐ「ゆとり空間」
展示ブースなどの設置も可能



▲ 新展示場 展示ホール入口



▲ 新展示場 展示ホール 膜天井のある、明るく
落ち着いた空間。移動式間仕切りで分割も可能

新展示場が10月26日に開館しました



▲ 施設配置図

当社が電気工事の施工をさせていただいた富山産業展示館（テクノホール）様の増築工事が竣工し、10月26日に新展示場がオープン致しました。

増築分はホワイエ・大展示場などを含め5,855㎡の大規模な施設です。既存の建物と合わせると約13,000㎡の規模の会場となり、大きな規模のイベントを開催することができるようになりました。

産業展示館様は昭和58年に富山県の産業情報発信の拠点として開設され、34年の歴史を有します。今回のリニューアルオープンにより、ますます富山の産業発展に貢献出来るものと確信致します。また今回の工事に伴い、新たに展示商談用のブースとして電源LANを設置し、冬季間のイベントを快適にするため床暖房システムが導入されています。大規模な展示会や式典・セミナー等を計画される際はぜひ新展示場のご活用をご検討下さい。

終わりに、今回の工事にご協力いただいた関係各位に感謝を申し上げ、富山産業展示館様増築工事のご報告とさせていただきます。

（営業企画部・清水）

入社して4年目の私たちです



▲ 左より 津幡、佐伯、釜土、姫野

2014年、4月に入社した4人です。
今年で4年目に入りました。各部署で目標を持って頑張っております。
これからもどうぞ指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。



▲ 入社当時の写真です

✿ エ事部第1グループ 姫野

今年の5月から9月まで、富山産業展示館様の新展示場増築工事及び既存展示場改修工事の現場で、私は主に既存展示場の改修工事を担当しました。

改修工事のメイン工事は大展示場の照明器具LED化工事でした。新たに取付ける照明器具の取付方法を一から検討しましたが、万が一災害が発生した際には避難場所となる施設なので、地震等が発生し避難所になった時の事を考え、取付方法を検討する際には、照明器具の落下防止には特に気をつけて検討を行いました。下記の写真は、照明器具の増締（ましじめ）確認を行っているところです。

富山県を代表する展示場である、富山産業展示館様の工事に携われた事を嬉しく思います。この増築と改修工事の竣工により、今後更に多くの展示イベント等が企画予想されますので、皆様もぜひ足を運んでご見学してください。



▲ 既存展示場 照明器具落下防止のため
天井裏から1台1台増締確認を行います



▲ 増締確認の様子(姫野)

(工事部・姫野)

✿ 工 事 部 第 2 グ ル ー プ 津 幡

私は4月1日から9月29日にかけて、豊田小学校跡地開発事業（PPP事業・公民連携）豊田公民館様新築工事の施工を担当させていただきました。

この公民館は、「公民館」「地区センター」「図書館」の3つの役割をもつ建物となっています。コンセプトとして「災害時の拠点になる建物」「省エネ」の2点が挙げられ、電気設備工事においてこれらのお手伝いをさせていただきました。

- ①調光センサーの設置…日中に照明の照度を絞って夕方にかけて照明を明るくする
- ②人感センサーの設置
- ③太陽光発電設備の設置…日中に太陽光パネルで発電し、蓄電池に電気を蓄えながら各回路に電気を供給。停電時は蓄電池の電気を重要負荷に供給。
- ④発電状況の可視化…太陽光発電とガス発電、ダブルで発電したものの状況をモニター化し、省エネ意識の高揚

今回の工事において特に苦労したことは、発電設備でつくられた電気を売電しない（自家消費する）ので、電力側に電気を送らないような設備を設けることでした。逆流防止のCTを取付けることで対応可能なのですが、発電設備が2つあるのでどの位置にCTを設置すればうまく作動できるかを見極めることが大変でした。

メーカーと打ち合わせを行い、現場に納めて送電した後、うまく機能していないことが分かり、調整してモニター確認を行いました。北陸電力様から系統連系の許可が下りた時にはホッとしました。

初めての経験で、うまくいくのか不安でしたが、社内の方々の助言や手助けをいただき現場を納めることができました。ありがとうございました。



▲ 豊田公民館様外観

（工事部・津幡）

✿ 工 事 部 第 3 グ ル ー プ 佐 伯



▲常駐する現場事務所にて

私は現在、柿谷部長と共に前田建設工業様施工の富山スガキ株式会社様塚越工場新築工事の現場を担当させて頂いています。一緒に定例会議に出席させて頂き、図面も作成していますが、規模が大きい事に加え初めて印刷工場を担当するという事で苦労しています。

4年間で経験したことのない大型の物件で、工期も厳しく不安も大きいですが、今までの経験・反省を活かし、また現場の納め方等勉強しながら一生懸命に努めていきたいと思っています。

関係者の皆様、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



私事ではありますが、10月21日に結婚致しました。
これからは責任を持って楽しい家庭を築いていきます。



（工事部・佐伯）

✿ 総 務 部 総 務 課 釜 土



▲事務所にて

私は総務課で、接客や電話対応、書類の作成などを担当しています。総務の仕事はお客様と直接お会いする機会はありませんが、会社の重要な部門の仕事を任されている部署であるところによりやりがいを感じています。社員の皆さんが気持ちよく働くことができるよう、自分にできることを常に考え、「目配り・気配り・心配り」を大切にしていきたいです。

入社して3年が経ち仕事にも慣れ、会社の流れも少しずつ分かるようになってきました。今後も新栄電設の縁の下で力持ちとして頑張ります。

（総務部・釜土）

総務で育てている花です



チェリーセージ

花ことば
燃ゆる想い
尊重、知恵



メラノボジウム

花ことば
元気、かわい
い
小さな親切



ガゼニア

花ことば
きらびやか
あなたを誇りに思う
身近な愛



富山城址公園 環境整備活動

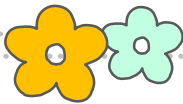


9月2日（土）に、富山城址公園にて今年2回目の地域美化活動を当社社員と協力業者の計29名で行いました。地域美化活動は今回で18回目となります。

富山城址公園で地域美化活動を行うのは今回が3回目となりますが、やはりゴミを見つけるのも難しいほどとても綺麗に清掃されています。それでも落ち葉を拾ったり、わずかなゴミを見つけるのに目を凝らしたり、あっという間に時間が過ぎました。

今回は、当社社員のお子さんたちも参加し、一生懸命にゴミ拾いをする姿に感心しました。大人も子供も関係なく掃除をする事で「気持ち」の心を養ったと思います。途中、観光客の方に松川の遊覧船や城址公園内の佐藤記念美術館について尋ねられましたが、あまり答えることができず、今後は富山市民として観光PRが出来るよう頑張ります。

（工事部・大山）



超大型台風21号の影響



▲普段の井田川（井田川ライブカメラより）



▲10月23日8時頃の井田川。川の増水と左後方の浸水の様子（井田川ライブカメラより）



▲強風で根こそぎ倒れたこぶしの木（婦中）



▲立山連峰、剣岳

超大型で非常に強い台風21号の影響で、県内は10月22日から23日に記録的な暴風、大雨、洪水、高波警報が出され各地で被害が出ました。当社のお客様にも漏電・アンテナなどの被害の影響が多数出ました。地球温暖化の影響でしょうか？想定外の環境が続きます。

COP23（国連気候変動枠組条約第23回締約国会合）ではパリ協定のルール作りが改正し、世界的な温度上昇を産業革命以前に比+2℃以下の目標値からさらに低い1.5℃以下に抑えるという長期気温目標が設定されました。省エネ基準の改正が加速されます。何もしなければ2100年には約4.8℃気温が上がると言われています。

「富山は良い所。立山が守ってくれるから」災害の少ない富山県民の自慢の立山ですが、これからは一人一人が危機管理のもと避難訓練や法令に伴い省エネ対策が必要になります。

（工事部・上沢）

第21回資質向上研修会「信頼関係を築く 愛あるコミュニケーション」



11月25日（土）に資質向上研修会を行いました。今回は講師としてコスモ生涯学習アカデミー代表尾山敦子様に講演をしていただきました。

人間は生きている間に約2万人の人と出会うそうです。人間は自分と未来を変える事が出来る。そのためには相手の話を聴く事、相手の見方を変える事、そして自分自身が変わり、そうする事によって相手は自ずと変わる。

また心理テストを行い自分ではあまり意識していない自分自身の傾向を確認し、相手との違いを認め合う事の大切さを教わりました。当社社「愛」{常に相手の立場に立ち、思い・考え・行動する}に共通する部分が多くありました。

講義中に印象に残った言葉です。「出会えた事に感謝です。心とは、思い・考え・行動する事。心を働かし自分の命を削って対応する事です。」この言葉に真剣さが伝わってきました。これからも色々な方と出会うと思います。感謝の気持ちで対応致します。

（工事部・上沢）

社長よりご挨拶

師走の候 各位には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

早いもので今年も僅かとなりました。今年のスローガンは「規律から自律へ」でした。社員一人一人の資質が向上して参りましたが、毎年同じことの繰り返しではマンネリ化して衰退していきます。お客様の事を思い相手に寄り添い、話をよく聴き双方向の意見を出し、お役に立つ事が大切だと考えています。

来年は必要とされる要因は何かを更に真剣に考え対応していく所存です。ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

（代表取締役社長・清田）



発行元



株式会社新栄電設

〒930-0953 富山県富山市秋吉37-2 TEL: 076-491-5113 FAX: 076-491-5118

（編集・校正：上沢・大山・清水・小林・酒井・姫野・津幡・佐伯・釜土・生地）

2017年12月6日発行